



米国株週報 ・ 2026年第39週 (9/21~9/25)

ナスダック100は3.3%上昇。 均等加重の S&P500 は下落。 巨大テックは祭り、債券市場は警報。

今週の上昇はごく一部の銘柄のものでした。Meta は週間13%高、半導体は5.9%高。しかし均等加重の S&P500 は0.2%安、ラッセル2000は0.8%安です。同じ週、米10年債利回りは一時5.22%と2007年以来の高水準に達し、ハイイールド債スプレッドは25ベースポイント拡大しました。株式市場は AI を祝い、債券と信用市場は利上げに身構えています。

S&P500 +1.2% 終値 7,743.41	ナスダック100 +3.3% 終値 30,608.13	ラッセル2000 -0.8% 終値 2,837.55	米10年債 5.17% +16bp	VIX 恐怖指数 14.87 週間 +0.06
WTI 原油 -7.9% 終値 92.41				

01

今週の主役

米10年債は5.2%に迫る。上がっているのは実質金利

米10年債利回りは今週16ベースポイント上昇して5.17%で引け、木曜には一時5.22%と2007年6月以来の高水準をつけました。30年債は一時5.50%と2004年以来の高さで、住宅ローン金利は7%を超えています。

注目すべきは中身です。16ベースポイントのうち15は実質金利（10年物 TIPS は2.83%）で、期待インフレ率は1ベースポイントしか動いていません。**市場はインフレの加速ではなく、お金が高くなることを織り込んでいます。**FRB は9月16日に3年あまりぶりの利上げで政策金利を3.75~4.00%とし、ドットチャートは年内もう1回の利上げを示しています。今週はバー理事が追加利上げが必要だと発言し、10月の利上げ確率は75%を超えました。

危ういほど狭い上昇

ナスダックは火曜に史上最高値を更新し、ナスダック100は週間3.3%高。原動力は Meta です。AI アシスタント「Muse」が米国 App Store で1位になり、ウェルズ・ファーストは目標株価を640ドルから796ドルに引き上げ、株価は月曜だけで11%、週間で13%上昇しました。半導体 ETF（SMH）も5.9%続伸しています。

ところが中身を見ると、11セクターのうち6つが下落し、均等加重の S&P500 は0.2%安、小型株のラッセル2000は0.8%安でした。指数は上がっても、大半の銘柄は上がっていません。

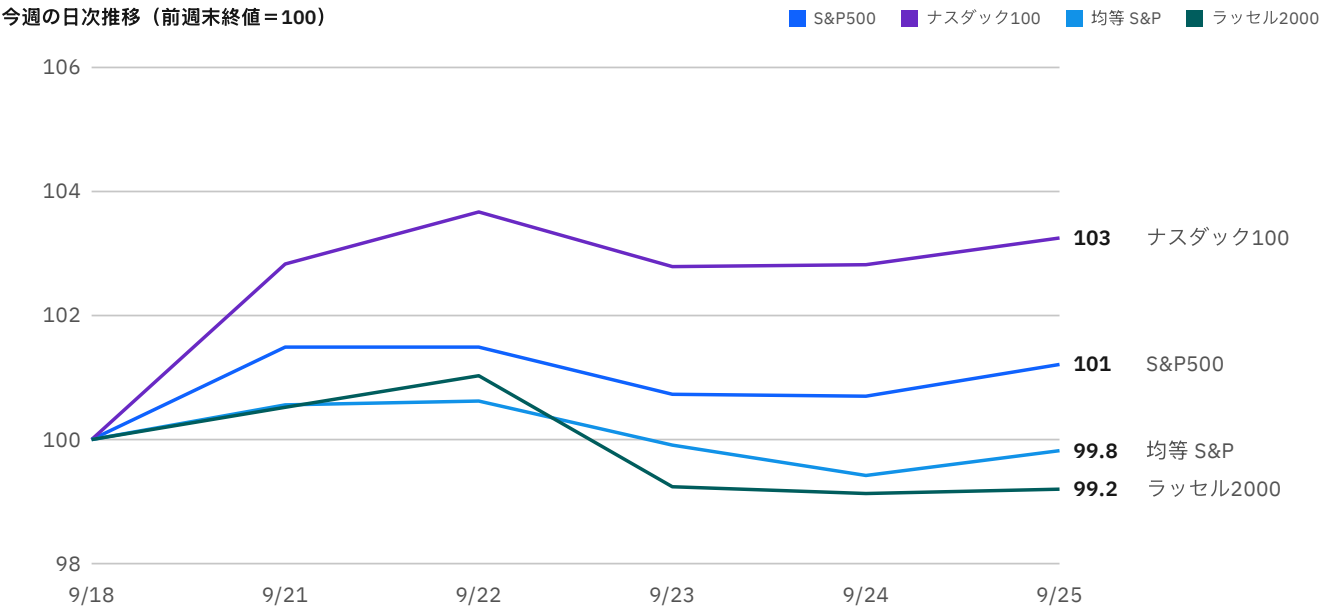
原油は週間7.9%安。WTI とブレントが別の道へ

WTI 原油は金曜に92.41ドルで引け、週間7.9%安と8月末以来初めての週間下落となりました。理由は2つ。米イラン停戦への期待と、OPEC（4回連続）と IEA による2026年の需要見通しの再引き下げです。一方、ブレントは今週0.4%高と100ドルを維持しました。中東の供給リスクは国際価格を支え、停戦期待は米国の指標油価だけを押し下げた形です。エネルギー株は3.0%下落しました。

株式市場が見ているのは AI、債券市場が見ているのは利上げ。どちらかが考えを改めることになる。

02
勝者と敗者

今週の日次推移（前週末終値＝100）



11セクターの週間騰落（SPDR セクター ETF）

情報技術 +3.6% 年初来 +36.8%	コミュニケーション +2.3% 年初来 -3.2%	ヘルスケア +1.8% 年初来 +11.6%	資本財 +0.7% 年初来 +10.7%	素材 +0.1% 年初来 +11.2%	一般消費財 -0.2% 年初来 -6.8%
生活必需品 -0.2% 年初来 +7.7%	不動産 -1.5% 年初来 +5.5%	金融 -1.5% 年初来 +1.4%	エネルギー -3.0% 年初来 +41.5%	公益事業 -3.2% 年初来 -5.5%	

スタイルとテーマ

半導体 +5.9% 年初来 +68.4%	モメンタム +2.9% 年初来 +27.8%	グロース (ラッセル 1000グロース) +2.4% 年初来 +7.0%	クオリティ +2.0% 年初来 +13.3%	ソフトウェア +1.6% 年初来 +0.3%	バリュース (ラッセル 1000バリュース) +0.1% 年初来 +21.0%
低ボラティリティ -0.1% 年初来 +5.5%					

巨大テック	週間	1カ月	年初来	終値
メタ	+13.0%	+30.6%	+14.2%	\$751.66
マイクロソフト	+4.5%	+4.0%	+7.4%	\$516.17
テスラ	+2.2%	+7.6%	-17.3%	\$372.11
アップル	+1.5%	+8.8%	+25.8%	\$341.07
エヌビディア	+1.3%	+7.5%	+21.0%	\$225.07
ブロードコム	-1.2%	-0.6%	+2.5%	\$352.81
アマゾン	-1.6%	-4.1%	+8.2%	\$249.67
アルファベット	-1.6%	+0.6%	+10.1%	\$343.92

最も強いセクターと弱いセクターの差は7ポイント近く。情報技術は3.6%高、公益事業は3.2%安でした。金利に敏感なセクター（公益事業、不動産、金融）はそろって下落し、利回りが5%を超えれば「債券の代わり」の株は魅力を失います。スタイルではグロースが2.4%高、バリュースは0.1%高にとどまり、モメンタムは2.9%高、低ボラティリティは小幅安。巨大テックの中でも明暗が分かれ、Meta は13%高、マイクロソフトは4.5%高の一方、アルファベットとアマゾンはそれぞれ約1.6%安でした。

03

金利と信用

指標	週末値	週間変化	年初来
米2年債	4.81%	+5bp	+134bp
米10年債	5.17%	+16bp	+99bp
米30年債	5.49%	+15bp	+65bp
10年-2年スプレッド	0.36%	+11bp	-35bp
10年実質金利 (TIPS)	2.83%	+15bp	+90bp
10年ブレイクイーブン・インフレ率	2.34%	+1bp	+9bp
ハイイールド債スプレッド	2.93%	+25bp	+12bp
投資適格債スプレッド	0.81%	+4bp	+2bp
FF 実効金利	3.88%	+0bp	+24bp

出典：FRED（セントルイス連銀）、今週データのある最終取引日。スプレッドはオプション調整後（ICE BofA）。

VIX 恐怖指数 14.87 週間 +0.06	MOVE 米国債ボラティリティ 96.00 週間 +15.36	ドル指数 100.97 週間 +0.75
-------------------------------	---------------------------------------	----------------------------

イールドカーブはスティープ化しました。2年債は5ベースポイント上昇にとどまり、10年債は16上昇、10年-2年スプレッドは0.36ポイントに拡大。長期債ほど売られているのは、圧力が政策金利だけでなく、タームプレミアムと財政赤字から来ていることを示しています。

警戒すべき対比が2つあります。**債券のボラティリティ (MOVE) は1週間で15ポイント上昇して96になったのに、株式の VIX は14.9でほぼ動かず**、S&P が上がる中でハイイールド債スプレッドは25ベースポイント広がって2.93%に。信用市場は株式市場より先に「お金が高くなった」ことに気づくものです。

04

クロスアセット

資産	直近	週間	年初来
天然ガス	3.20	+9.8%	-13.3%
ビットコイン	84,034.92	+3.6%	-4.0%
日経平均	66,364.20	+2.1%	+31.8%
イーサリアム	2,690.48	+1.8%	-9.3%
ドル/円	158.81	+1.7%	+1.5%
銅	6.70	+1.2%	+18.9%
ユーロ・ストックス50	6,302.82	+1.1%	+8.7%
ブレント原油	104.32	+0.4%	+71.4%
ドル/人民元	6.71	+0.1%	-4.1%
上海総合	3,888.37	-0.6%	-2.0%
ユーロ/ドル	1.14	-0.9%	-3.2%
ハンセン指数	24,510.09	-1.0%	-4.4%
金	4,321.20	-2.3%	-0.5%
銀	64.25	-3.5%	-8.4%
WTI 原油	92.41	-7.9%	+60.9%

為替は表示の通貨ペアの騰落：ドル/円の上昇はドル高。原油・天然ガスは期近先物。

実質金利の上昇が貴金属を押さえ、金は2.3%安、銀は3.5%安。天然ガスは逆行して9.8%高でした。ドル指数は0.75上昇して101.0、ドル/円は1.7%上昇し、円安が日経平均を2.1%押し上げました。ハンセン指数は1.0%安、上海総合は0.6%安。ビットコインはテック株に連れて3.6%高です。

05

当社カバー銘柄

ティッカー	当社レーティング	週間	対 S&P	年初来
MSFT	中立	+4.5%	+3.3%	+7.4%
MCD	買い	-4.7%	-5.9%	-21.1%
KO	買い	-0.5%	-1.7%	+28.0%

マイクロソフトは今週4.5%高と S&P を3.3ポイント上回りました。当社のレーティングは中立で、PER 26倍ですすでに好材料は織り込み済みと見ています。マクドナルドは4.7%安。9月23日の投資家説明会で2036年までに約85億ドルの加盟店支援を発表し、当日は5.6%下落しました。当社はこの下落の後に買いと判断しています。コカ・コーラは0.5%安。注：表のレーティングは9月30日に確定した現在のものです。詳しくはマイクロソフト、マクドナルド、コカ・コーラレポートへ。

06

来週の注目点

日付	イベント	注目点
9/30	マイクロン決算（引け後）	半導体は1週間で5.9%上昇。AI 向けメモリー需要を実際の受注で示せるか
9/30	8月 PCE 物価指数	FRB が最重視するインフレ指標。前月のコア PCE は前年比3.3%。さらに強ければ10月利上げは避けにくい
10/1	9月 ISM 製造業景況指数	前月54.6、価格指数71.1。価格指数が下がらなければ、インフレ圧力はまだパイプラインの中にある
10/1	ナイク決算（引け後）	消費の節約志向を測る温度計。米国の需要と在庫に注目
10/2	9月雇用統計	前月は16.2万人増、失業率4.1%。強い雇用と5%の10年債利回りは、利上げ派にとって最強の論拠

決算	日付	時間帯	EPS 予想
Carnival Corporation Ltd. (CCL)	9/29	－	1.35
Micron Technology, Inc. (MU)	9/30	引け後	31.82
NIKE, Inc. (NKE)	10/1	引け後	0.44

時価総額300億ドル超の企業。yfinance の決算カレンダーより。日程は会社発表が優先。

07

計算方法と出典

週間騰落率 = 今週最終取引日の終値 ÷ 前週最終取引日の終値 - 1（2026-09-21～2026-09-25）。指数とETFは調整後終値。

株価・為替・商品・暗号資産・カレンダーはYahoo!ファイナンス（遅延あり）。米国債利回り、実質金利、期待インフレ率、信用スプレッド、FF金利はFRED。

セクターはSPDRセクターETF、スタイルはiSharesラッセル1000グロース/バリュー、MTUM、QUAL、USMV、テーマはSMH（半導体）とIGV（ソフトウェア）。

今週引用した報道

指数の週間騰落とナスダックの最高値：TheStreet（9/25）
MetaとMuse：TipRanks（9/21）、Yahoo Finance
米国債利回りと利上げ観測：Semafor（9/24）、CNBC（9/24）
9月のFOMC：Charles Schwab、Seeking Alpha
原油：EnergyNow、OilPrice.com

本週報は公開市場データに基づくリサーチの記録で、すべての読者に向けたものです。個人の財務状況を考慮したものではなく、投資助言ではありません。データには遅延があり、原資料が優先されます。

データ時点 2026-09-25・雅虎财经（行情、汇率、商品、日历）；FRED（美債收益率、信用利差、政策利率）

AlphaScope · alphascope.cc/ja/reports/us-weekly-2026-w39 · 2026-09-30 作成

財務データは SEC EDGAR の原資料から。株価データには遅延があり、出典は各レポートに明記しています。

レーティングはすべての読者に向けたリサーチ上の見解であり、個人への売買の推奨ではありません。投資にはリスクがあります。最終判断はご自身で。